

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2020年12月1日

日蓮正宗 年間方針

御命題達成の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

①勤行・唱題で歓喜の実践

境涯開く御題目を  
正しい姿勢で実践

②異体同心の折伏で

広布へ前進

僧俗和合

講中一結

③御講と登山の推進で

人材育成

罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2020年11月28日、29日の宗祖日蓮大聖人御大会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ

大聖人は病床に伏す南条殿に対し、「日蓮は釈尊の一大事の秘法を霊鷲山において確かに相伝し、日蓮の中に秘して隠し持っている。日蓮の心身の本地は、諸仏が禅定の行をし、その仏が悟りを得、誕生し、説法する処である」(御書1569頁)と仰せになり、自身の処に、仏様が仏と成る修行の根源があられることを明言あそばされました。さらに「日蓮の処に参詣するならば、必ず無始の罪障は消滅し、三業の悪は転じて三徳となる」(同頁)と、大聖人のもとへの参詣を促されたのです。身・口・意の三業の裏には貪・瞋・癡の煩惱があります。三徳とは仏の徳相のことで、真理と智慧と菩提をいいます。大聖人の御魂魄がまします総本山への参詣は仏道一切の根源です。根っこから人生を変えることができます。新年の初登山、心して向かいましょう。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その4)

平成2年7月17日の宗門と学会の連絡会議の冒頭における、秋谷会長・首脳幹部による一方的かつ高圧的な宗門批判や御法主上人への冒涇発言、そしてそれが終わると席を立ち帰ったことは、聖教新聞では一切触れられず、「真剣な討議がなされた」と欺瞞のものとなっていました。それから四日後の7月21日、学会の夏期講習会の開催にともない、池田名誉会長・秋谷会長が総本山へ登山し、御法主上人に御目通りしました。その折に御法主上人は、昭和53年の「6・30」と「11・7」で確認されたことが、現在の宗門と学会の僧俗和合・協調関係の原点であることを両氏に話された上で、学会内で「寺院へ行くな」「財務は御供養である」と指導がされている点について尋ねられ、それに対し両氏は苦し紛れに否定をしたのでした。(次号へ続く)

## ③ 「ご利益を願って信仰するのは弱い人間がすることだ」と言うあなたへ

あなたは仏様がこの世に出現した目的を知っていますか。また偉大な真の仏法の威力を知ろうと思いませんか。私たちは不幸を排除することを願い幸福を追求します。病人が健康を求め、青年が知識を求め、心ある政治家の働きも、すべてが幸福の追求に他なりません。そこで仏様は不安に満ちた弱い私たちに真の幸福を気づかせ、またそれを与えるために出現し、法を説かれたのです。真実の幸福は「自利利他」にあります。恩を知り他を利する心のない人には自身の利益(功德)もないのです。真の宗教の威力とは、私たちに仏界の生命を涌現せしめ、また諸天の存在と働きを教えます。仏の慈悲たる「抜苦与楽」の法を知り、くずれない幸福、歓喜の生活を得ることが、我が人生も、我が家族も救うのです。お待ちしています。